

平和への願いを届けてくれた「被爆ピアノ」

5月24日(土) 西区文化センターなでしこホールで「被爆ピアノコンサート」を開催しました。小雨の降る中でしたが、265名の方が参加され、「演奏の皆さんが被爆ピアノに思いを込めて弾いていることが伝わり、感動しました！」などの感想が多く寄せられました。

「被爆ピアノの話」は広島の被爆2世のピアノ調律師である矢川光則さん。被爆ピアノを7台授かり、2005年からトラックに載せて、全国3000か所を回っている。このピアノは海外でも演奏されている。参加者から「被爆ピアノがこんなにも美しい音色で私たちを魅了してくれた」「ピアノに歴史の証言者として語らせる意味は深い」などの声がありました。



矢川さんと出演者の皆さん

「TAKEMOTO ピアノ教室の生徒さんと先生の演奏」では 年長組から中学2年生までの5名の生徒が演奏。親子である竹本玲子・玲美先生が連弾。そして、先生から生徒たちに被爆ピアノを弾いた感想のインタビューでは、両親が広島出身であることや事前に広島原爆資料館を見学した生徒がいるなどの紹介もあり、感動を呼びました。「子どもが被爆ピアノに込めた平和への気持ちが伝わってくる優しい音色だった」「先生親子による連弾。息が合って大変良かった」などの感想が寄せられています。

「ノーベル平和賞受賞のメッセージ」として、明石市原爆被害者の会会長・岸本さんから日本被団協の歴史と今回の受賞の意味として、核兵器が使われるかもしれない世界情勢の中で、我々に一層の努力を課したものと考えている。また、自身が被爆した2歳半でも覚えている当時の体験を話されました。

「平和を歌おう」では、中村宏臣医師が「一本の鉛筆」他1曲を独唱。併せてヴァイオリン演奏も。

次に元小学校音楽教師の川上さんから、「九条の会」発起人の一人である井上ひさし作詞「ひょっこりひょうたん島」、戦争体験のひもじい思いから「アンパンマン」を創作したやなせたかし作詞「手のひらを太陽に」の歌唱指導もありました。

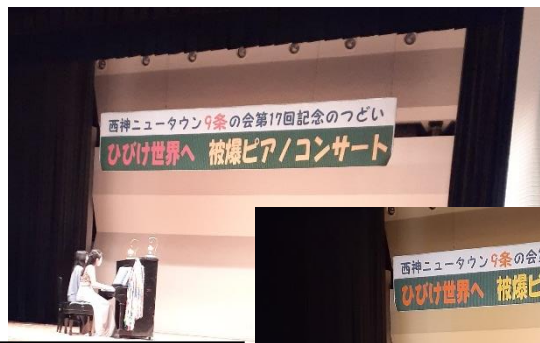
最後にピアニストの**広瀬一葉さんの演奏**があり、「月光」「ひまわり」他3曲と「原爆許すまじ」を追加。「選曲に込められた想いや音色を愛おしむような奏でにも心打たれた」「特攻隊の明日出撃されるという兵隊さんの「月光」の話がよく、せつない音色でした」との感想がありました。

会長挨拶の後、**フィナーレ**は「折り鶴」の歌を合唱して閉会としました。

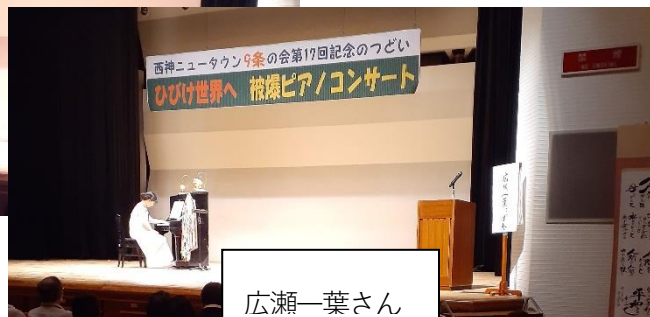
今回のつどいでは、9条の会活動への期待も多く寄せられ、また被爆ピアノの響きを受け、改めて平和への想いを強くしました。（事務局長 島田）



なでしこホール



竹本玲子・玲美先生
の連弾



広瀬一葉さん



調律中の矢川さん



「折り鶴の」合唱

平和の掛け軸↑



4tトラックで全国へ

「ひびけ世界へ 被爆ピアノコンサート」プログラム

2025年5月24日(土) なでしこホール(西区文化センター2階)

13:00 開場

13:30 開演

被爆ピアノについてお話 矢川光則さん (株) 矢川ピアノ工房

13:45 TAKEMOTOピアノ教室 生徒さん先生の演奏

① 劉 錦熹(小2) メヌエットト長調BWV Anh.114/ペツォールト(伝JSバッハ)

② 武知 涼大(小5) アヴェ・マリア/ブルグミュラー

③ 大島 莉子(小6) 亜麻色の髪の乙女/ドビュッシー

④ 井下 未希人(中2) 春よ、来い/松任谷由美

⑤ 松村 玲英(年長) ・ふねがでる/民謡・しずけき祈りの/W.ウォルフオード

⑥ 竹本 玲子・竹本 玲美 ・スラヴ舞曲 Op.72-2/ドヴォルザーク

・見上げてごらん夜の星を/いずみたく(歌唱 坂本 九)

14:15 ノーベル平和賞受賞メッセージ

明石市原爆被害者の会会長 岸本吉弘さん

14:25 休 憩

14:35 平和を歌おう

中村正臣医師 美空ひばり「一本の鉛筆」「愛燦燦」

みんなで歌おう 歌畠詠導 川上麻理子さん

「ひょっこりひょうたん島」井上ひさし作詞

「手のひらを太陽に」やなせたかし作詞

広瀬一葉さんの演奏

月光第一楽章 ベートーヴェン作曲

ひまわり ヘンリー・マンシーニ作曲

左手のためのノクターン スクリャービン作曲

さとうきび畑 寺島尚彦作曲

鳥の歌 カタルーニャ民謡

15:35 閉会挨拶 会長 大西慶雄

15:50 閉会 フィナーレ 「折り鶴」合唱

